



スラスト対策工設計システム

「土地改良事業設計基準 (パイプライン)」・「日本下水道協会」・「日本上水道協会」に準拠

価格 ¥198,000- (税込)

新規購入の場合、別途プロジェクト費用が必要です。

適用基準

- 土地改良事業計画設計基準 設計「パイプライン」(R3/6)
- 日本水道協会 水道施設設計指針 (2012年)

計算範囲

- 地下水位を考慮した計算が可能
- スラスト力を計算し判定表示
- スラストブロックによる対策
- 溶接接着溶着による一体化長計算
- 離脱防止継手による一体化長計算

検討箇所

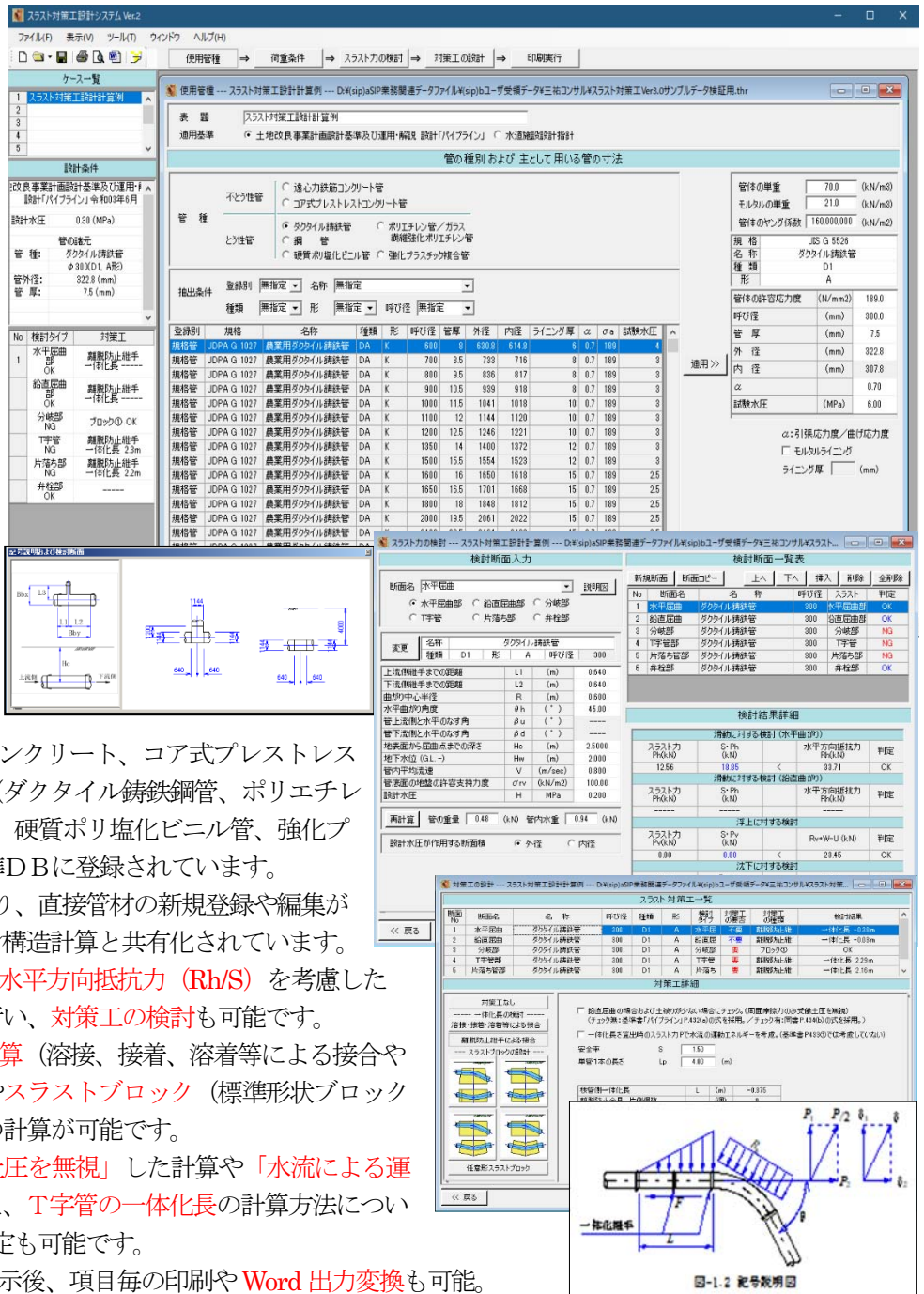
- 屈曲部 (水平/鉛直) ○片落部
- 分岐部 (Y、T字管) ○弁栓部

適用管種

- 不とう性管 ○とう性管

主な機能

- 1.管種は、**不とう性管** (遠心力鉄筋コンクリート、コア式プレストレストコンクリート) および**とう性管** (ダクタイル鋳鉄鋼管、ポリエチレン管/ガラス繊維強化ポリ管、鋼管、硬質ポリ塩化ビニル管、強化プラスチック複合管) に対応し、標準DBに登録されています。
- 2.管材の**標準DB**は**CSV**化されており、直接管材の新規登録や編集が可能です。また、他のパイプライン構造計算と共有化されています。
- 3.スラスト力の計算では、**地下水位**や**水平方向抵抗力 (Rh/S)**を考慮した「**滑动**」「**浮上**」「**沈下**」の検討を行い、**対策工の検討**も可能です。
- 4.スラスト対策工として**一体化長の計算** (溶接、接着、溶着等による接合や離脱防止継手による接合) の計算や**スラストブロック** (標準形状ブロックや任意形ブロック) による対策工の計算が可能です。
- 6.スラスト力の計算において「**受働土圧を無視**」した計算や「**水流による運動エネルギー**」の考慮の有無、また、**T字管の一体化長**の計算方法について「**分岐側**」「**本管側**」で求める指定も可能です。
- 7.計算書の出力は、印刷プレビュー表示後、項目毎の印刷や**Word出力変換**も可能。



システム環境

- 基本OS : Windows8 (32bit&64bit)、Windows10&11 (64bit)
- ハード環境 : HD容量500MB以上、メモリ容量4GB以上
- プロジェクト方式 : HASP (USB) 方式、オンライン (IN) 方式、ネット認証システム (Lan対応版)

お問合せ

CONTACT (TEL) : 06-6125-2232 (FAX) : 06-6125-2233

ACCESS (URL) : <https://www.sipc.co.jp> (Mail) : mail@sipc.co.jp

株式会社 SIP システム

〒542-0081

大阪府大阪市中央区南船場 1-18-24-501 (大阪事務所)

TEL : 06-6125-2232 FAX : 06-6125-2233

ご案内

- ・本商品に関するご質問、資料請求、見積依頼等につきましては、お電話、メール等にて弊社「大阪事務所」迄お問合わせ下さい。
- ・弊社ホームページより各商品概要のリーフレット、出力例等のダウンロードや体験版プログラムのお申込み等が可能です。